

■富岡鉄斎 南画家。幕末に絵を学び、国事にも奔走、維新定着後は書画に専念、最後の文人画家と言われた。

とみおかてっさい

・ ・ ・ ・ ・ 1836 = 京都の法衣商十一屋伝兵衛富岡雅叙の次男に生まれる。

大塩平八郎乱 1837 = 1歳 :

先祖が石田梅岩の高弟であった関係で、幼少より、国学を大国隆正に、漢学を岩垣月洲に学び、

阿部正弘首座 1845 = 9歳 :

後、陽明学を春日潜庵に学んで、勤皇思想を身につける。

難聴でもあったことから、商人より学問の道をめざし、さらには、文人の余技として、南画、狩野派、大和絵、浮世絵、大津絵から写生派まで、**「絵画について幅広く関心を持つようになり、**

ペリー来航・ 1853 = 17歳 :

開国開港・ ・ 1854 = **18歳** : この頃から二人の画家につくが、南画と北画双方であったことから、以後、特定の派にとらわれずに、諸作家の良い面を吸収して、独学。

松下村塾・ ・ 1856 = 20歳 : 太田垣蓮月尼と北白川の雲居山心性寺に同居し、製陶など高齢の尼の身の回りの世話をする。父が死去。

五ヶ国条約・ 1858 = 22歳 : **安政の大獄が起こって、先輩・友人の多くが捕らえられると、危険を察知して旅に出、**

安政の大獄・ 1859 = 23歳 : 叡山の学僧僧羅溪慈本に詩文を学び、**「書画の練習に励んで作品も多くなる。**

桜田門外変・ 1860 = 24歳 : **鉄斎の号を用い始める。**

遣欧使節・ ・ 1861 = 25歳 : 長崎に遊学、田能村竹田らの絵に接し、祖門鉄翁などの文人画家に会い、

生麦事件・ ・ 1862 = 26歳 : 京都聖護院村に私塾を開くが、**「生活は苦しく絵を描いて生計の助けとした。**

8月18日政変 1863 = **27歳** :

「いわゆる『勤王の志士』たちとの交際の範囲が広く、国事にも奔走、

薩長同盟・ ・ 1866 = 30歳 : 「孫呉約説」を出版。

大政奉還・ ・ 1867 = 31歳 : 画家の娘と結婚。***驚くべき簡略法で描いた『層巒雨霽図』は、スーラージュを先取りしている。**

明治維新・ ・ 1868 = 32歳 : 長女誕生。

戊辰戦争終・ 1869 = 33歳 : 天皇の東行に随行。妻死去の報で帰京。「称呼私弁」などの著作を出版。**「その画業をつづける。**

30~40代は全国各地を旅行、転居も繰り返す。

学問のすすめ 1872 = **36歳** : 再婚。

明治6年政変 1873 = 37歳 : 長男誕生。湊川神社の権禰宜を任命されるも、宮司の俗物性に愛想をつかして、すぐに辞職、

初の民間工場 1875 = 39歳 : この年、太田垣蓮月尼が死去。大和石上神社の少宮司、

三つの反乱・ 1876 = 40歳 : 続いて、和泉大鳥神社の大宮司に任命されると、疲弊した神社の再興のために、絵を描く。

西南戦争・ ・ 1877 = 41歳 :

神官制度改正で宮司になる。
この間に描いた**「富士山」は、闊達な筆致で定型を打ち破り、ゴッホを先駆するようである。**

明治14年政変 1881 = 45歳 : *兄伝兵衛が死去、老母に仕えるため辞職して京都に帰り、上京区室町通一条下ル薬屋町に住むが、家業を廃業し、以後、文人に徹し、絵画の制作に専念する。

新体詩抄・ ・ 1882 = 46歳 : **「群仙高会図」は、色使いと、遠近法を無視した俯瞰的な視野で、ユニークな画面となり、**

帝国大学始・ 1886 = 50歳 : **「京都青年絵画研究会展覧会」の学芸審査員となって以降、多くの展覧会の審査員となる。**

初の対等条約 1888 = 52歳 : 以後5年、車折神社の神主を務める。、

帝国憲法発布 1889 = 53歳 :

帝国議会始・ 1890 = **54歳** : 京都美術協会委員となる。

大本教・ ・ ・ 1892 = 56歳 : 京都美術協会評議員となる。

郡司千島探検 1893 = 57歳 : 京都市美術学校教員となる。また、京都美術協会特別会員に推挙される。

日清戦争始・ 1894 = 58歳 : 京都市工芸品展覧会の絵画部審査部長になる。京都市美術学校教員になり、修身と考証学を教える。

日清戦争終・ 1895 = 59歳 : 母が死去。

白馬会・ ・ ・ 1896 = 60歳 : 長女が死去。**「旧蝦夷風俗図」「アイヌ絵巻」も、独自の視覚から、西洋にもない新しさを産んでいる。**

八幡製鉄始・ 1897 = 61歳 : **「南画協会の創立に参加、以後毎年出品。自作の展覧会への出品は、他にはほとんどない。**

子規句歌革新 1898 = 62歳 : **「富士山図」は、北斎の絵の再来ともいえる。**

Bushidou・ ・ 1899 = **63歳** :

日露戦争始・ 1904 = 68歳 : 学生との間の断層の大きさに失望して、京都市美術学校を辞める。***傑作「蓬莱仙境図 武陵桃源図」、**

日露戦争終・ 1905 = 69歳 :

満鉄発足・ ・ 1906 = 70歳 : 「富岡鉄斎先生書画陳列会」開催。**「妙義山・瀨八丁図」なども、西洋の表現主義を先駆。**

アヲヲ創刊・ 1908 = **72歳** : **「前年依頼された御用画「阿倍仲麻呂唐明州望月図」・群仙高会図」双幅完成。**

伊藤博文暗殺 1909 = 73歳 : **「胃潰瘍を患って、50年以上にわたった旅の生活に終止符を打つが、日本を覆う欧化主義とそれに反発する国粹主義のいずれにも距離を置き、緊張感をもって、最後の文人画家を貫き通して行く。**

明治天皇没・ 1912 = 76歳 :

大正政変・ ・ 1913 = 77歳 : 「鉄斎画賛」出版、

第一次大戦始 1914 = 78歳 : **「激しく咆哮するような奇怪な岩山を表現した「阿倍仲麻呂唐明州望月図(円通大師吳隱栖図)屏風」、**

ロシア革命・ 1917 = **81歳** : **「帝室技芸員に任命される。ほとんど形をなさない雪山を背景とした「遠山雪景図」、**

ベルサイユ条約・ 1919 = 83歳 : **「帝国美術院会員に任命される。**

原敬首相暗殺 1921 = 84歳 : **「画集「掃心図画」出版、**

水平社結成・ 1922 = 85歳 : **「展覧会に合わせて画集「百東坡」出版、**

関東大震災・ 1923 = 86歳 : **「墨の抽象的な太い線しかない「朱梅図」、**

護憲三派圧勝 1924 = 88歳 : ***エネルギーあふれる「扶桑仙境図」を描き、画集「米寿墨戯」出版後、持病の胆石症で没した。**

新潮日本美術文庫、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、田中英道「日本美術全史〜世界から見た名作の系譜」で追補、